

## 平成27年度 事業計画

肉用子牛の平均価格は平成25年10月以降500千円を超え、平成26年12月には600千円近くまで値上がりした。また、牛及び豚の枝肉価格、卵価、鶏肉価格においても高水準で推移しております。

しかし、円安等による配合飼料価格の高止まりや生産資材の高騰により生産費が増加し、厳しい経営を強いられている農家も増加しています。

また、高齢化や後継者不足により、全畜種で飼養戸数、頭数が減少しており、特に肉用牛で、戸数、頭数の減少が大きくなっています。

一方、TPP交渉も関税引き下げで協議が進んでおり、畜産農家には、先を見据えた経営転換が求められる時期に来ております。

このような状況ではありますが、畜産は本県農業の約30%を占める重要な品目であり、生産拡大に向けての取組が急務となっています。このため協会は、県、市町、JA等関係機関の協力を頂きながら、国、県、農畜産業振興機構、中央畜産会等の事業を積極的に取り組むと共に、農家目線での指導を行い畜産農家の経営安定と畜産振興に努めてまいります。

また、当協会の運営は、国、県等の補助金の削減や超低金利政策による資金運用収入の減少等、厳しい経営状況にありますが、積極的に各事業に取組み事務費の確保に努めると共に経費の削減による効率的な業務運営を図り、公益法人としての目的を達成するために、役職員一丸となって取り組んでまいります。

### 1. 経営安定対策の推進

- ・畜産農家の経営や飼養管理技術の改善のため、畜産コンサルタント事業や畜産特別資金推進指導事業等を活用し、関係機関との連携を密にして情報を共有し迅速かつ的確に支援致します。

### 2. 生産基盤の強化

- ・畜産農家の規模拡大や経営安定を図るため、国、県、農畜産業振興機構等の事業を活用し、優良繁殖雌牛の導入促進や規模拡大の支援を行うと共に、労働力軽減に対応するためのヘルパー組織の育成強化を図ります。特に、定休型に対応するヘルパー組織の支援も実施していくことで、今後地域の担い手となる後継者の確保につなげることにより生産基盤の強化を図ります。
- ・農畜産業振興機構の実施する「肉用牛経営安定対策補完事業の中核的担い手育成増頭推進」に、当協会の事業である豊後牛増頭チャレンジ推進事業で追加助成する事で、繁殖経営の

生産基盤を更に強化します。

### 3. 担い手の確保対策の推進

・肉用牛担い手人材育成事業により肉用牛ゼミナールを開催し、経営者としての意識改革を図ると共に、更に、飼養管理技術の向上を図るための支援を行い、将来の肉用牛生産の中核的な担い手の育成とネットワークづくりを支援します。

### 4. 畜産物価格安定対策の推進

・肉用子牛生産者補給金制度や肉用牛肥育経営安定特別対策事業、養豚経営安定対策事業（大分県肉豚価格安定対策事業）を実施することにより、各畜産物の価格補填による畜産農家の経営安定を支援します。

### 5. 家畜衛生対策の推進

・海外悪性伝染病に対する予防・啓発活動に取組み、関係機関と連携して自衛防疫の推進を図り、ワクチン接種等により家畜の損耗防止を推進します。また、産業動物獣医師等の協力の下、飼養衛生管理基準の遵守を目的として、農場 HACCP 認定普及推進支援対策事業に取り組む農場に対して指導を行い、伝染病の侵入防止と生産性の向上を推進します。

### 6. 畜産振興・消費拡大対策

・大分県農林水産祭の一環行事として、畜産共進会を開催し、家畜改良増殖の推進による生産基盤の強化並びに生産意欲の向上を図ります。また、畜産物の消費拡大を促進するために畜産フェスタを開催し、安全・安心な畜産物の消費拡大と広報宣伝に努めます。更に次代を担う子供たちを対象に、食育活動として畜産出前講座を開催し畜産への理解の醸成を図ります。

### 7. 情報の提供並びにデータの有効活用

・当協会のホームページを充実させ、畜産農家が容易に利用できる情報や資料等を掲載致します。また、畜産農家の経営や飼養管理技術の改善、衛生対策等に役立つ情報をまとめた冊子等を作成するなど、畜産農家が活用できる情報の提供に努めます。